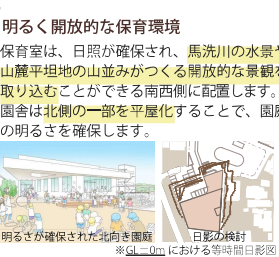


### ■ 生活の幅を広げやすい空間構成

- ① 拡張一体利用ができる平面計画
  - ・上記の保育室は整形なユニットとし、可動間仕切りにより分割することで、個別利用と一体利用が可能とします。
  - ・保育室に面して屋根付きのデッキテラスを設け、軒を深く張り出すことにより、雨の日でものびのび遊ぶことができる屋外環境をつくります。
  - ・体格差の異なる子どもが安全に過ごせるように、保育室から直接出入可能な未満児専用の園庭を南側に設け、園庭とひとつながりの保育環境をつくります。
- ② 明るく開放的な保育環境
  - ・保育室は、日照が確保され、馬洗川の水景や山麓平地の山並みができる開放的な景観を取り込むことができる南西側に配置します。
  - ・園舎は北側の一部を平屋化することで、園庭の明るさを確保します。



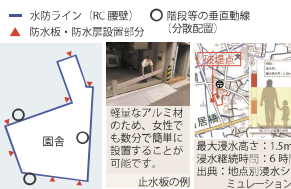
### ■ 災害時の時間的特性を考慮した2階建て案

#### ① 日常の利便性と非常時対応の簡易性

- ・建物の構造は、水密性が高く、流木等の漂流物に対して高い耐久性の高い鉄筋コンクリート造を採用します。
- ・想定最大規模の降雨による浸水は、「腰壁(1m)十高基礎(60cm)」により対策を行い、保育所と園庭との繋がりを維持し、通いやすく、利便性が高い新面計画を提案します。
- ・出入口部は、スピード対応(1人が1〜2分で設置)可能な防水板と防水扉により、施設内への漏水を最小限(想定最大規模において、10mm以下)に抑えます。
- ・地下ピットを活用した雨水貯留槽を計画し、水はけの悪い地面と敷地内不透領域に降る雨の敷地外への流出を抑え、内水被害を軽減させます。

#### ② BCP対策を実現するレジリエント建築

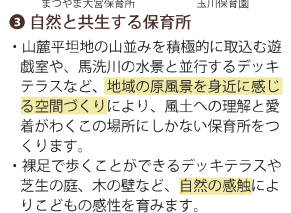
- ・遊戯室は2階に配置し、周辺の被災状況(土砂災害等)により即時滞りなく避難できる状況下でも、大人数の垂直避難が可能と計画し、キュービクルや屋外機等の基幹設備や、給食盤・コンソートを、想定浸水高さより高い位置に設置し、災害復旧の早期化を実現します。
- ・外部から直接2階へアクセスできる屋外階段を駐車場側に設けることで、万一浸水被害が発生した場合にも安全な脱出経路を確保し、浸水後の復旧作業中も保育所の2階を継続的に利用できる計画とします。
- ・浸水ラインを境に仕上げの切替えを行い、部分的な交換が可能と内装計画とします。
- ・コンパクトな園舎とすることで、外壁面積を抑え、浸水後の修繕費を最小限に留めます。



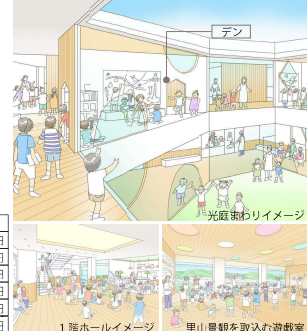
### ■ 好奇心を紡ぎ、ひとりひとりの物語を育む

#### ① 選択的で多様な居場所づくり

- ・少人数でのあそび場となるデン、異年齢交流を育む図書コーナー、地域住民と育てるエディブルガーデン、調理の様子を覗く食育窓、先生との対話を生むふれあいテラスなど、施設全体にこどもの社会性を育む居場所を適切に配置します。
- ・敷地出入口に配置したエディブルガーデン
- ・木造の建物内に設置した調理窓
- ・土川保育園



| 区分                 | 概算工事費     |
|--------------------|-----------|
| 建築工事費(浸水対策・杭・厨房含む) | 399,400千円 |
| 電気設備工事費(太陽光・蓄電池含む) | 116,900千円 |
| 機械設備工事費(地中熱含む)     | 129,900千円 |
| 外構工事費(園庭・遊具・湧き水)   | 45,800千円  |
| 既存解体工事費(杭撤去除く)     | 34,700千円  |
| 総工事費               | 726,700千円 |



### 地域に寄り添い、まちの未来を育む、ここにしかない保育所



計画地は、西側に馬洗川が流れ、北側にアカマツ群衆の山麓平地を望み、周辺には田園風景が広がる水と緑の自然豊かな場所です。付近には小学校や中学校、コミュニティセンターが広がり位置しており、文教施設が集中しています。周辺一体は、交通網の整備に伴い、戸建住宅の新築が著しく、市内でも有数の人口が増えている地域であり、今後も市の賑わいの中心となる場所とすることが想像されます。

敷地は2つの道路に広く面しており、まちの賑わいを高めることができるポテンシャルの高い敷地であるといえます。一方、道路の幅員が狭いことと文教施設の集中が重なることで、通学時間帯の慢性的な渋滞が発生し、交通安全上も課題がある敷地です。

また、三次市は水景の歴史が古く、付近では近年も内水による被害があり、水と向き合う必要がある地域です。これらを踏まえ、保育所としての基本的な要求と現状の課題を満足することを前提に、まちの未来を育むようなここにしかない保育所を提案します。



|             | A-1案 | A案(居ながら工事案) | A-2案 | A-3案 | B-1案 | B案(仮設舎設置案) | B-2案 | B-3案 |
|-------------|------|-------------|------|------|------|------------|------|------|
| 配置検討        |      |             |      |      |      |            |      |      |
| 居住性(日照、開放性) | ○    | ○           | ○    | ○    | ○    | ○          | ○    | ○    |
| 安全性(セキュリティ) | ×    | ○           | ×    | ×    | ○    | ○          | ○    | ○    |
| 工事期間中の影響    | ×    | ×           | ×    | ×    | ×    | ×          | ×    | ×    |
| その他         | ○    | ○           | ○    | ○    | ○    | ○          | ○    | ○    |

### ■ みんなで育つ共生社会をつくる

- ① 一人ひとりが安心できる居場所
  - ・集団生活が苦手な子どもや個別支援が必要な子どもが一時的に安心して過ごすことができるゾーンルームを配置し、共に暮らすことができるインクルーシブな保育施設を提案します。
  - ・小さなデンは、情緒が不安定な子どもが葛藤する気持ちを整理するのときを過ごすスペースとしても活用できます。
  - ・事務室に隣接して「東光のソララ」を配置します。こどもの発達や育児相談で気軽に立ち寄ることができるように、家庭的な設えとすることで、子育てに対する孤立感や不安感を和らげる大人の居場所をつくります。
- ② 通いやすく子どもを預けやすい保育所
  - ・敷地の出入口は、案内サインやシンボルツリーにより、保育所の顔をつくり視認性を高めることで、一時保育や休日保育などの、一時的な利用者にもわかりやすい施設づくりを行います。
  - ・一時保育室は、初めて訪れる人にもわかりやすいように、駐車場から見える位置に配置し、メインエントランスに隣接して配置することで保護者の送迎の負担を軽減します。
- ③ 保育所をまちづくりの起点にする
  - ・人通りの多い北側道路に広く面して園庭を配置し、こどもの賑わいがまちの風景となる「公園のような園庭」を提案します。
  - ・八次小学校と向き合うような配置構成とし、交差点からの見通しを確保することで、オアシススペースが連続した保小連携を高める一体感のある文教のまちをつくります。
  - ・北側道路に隣接して散歩途中の住民が立ち寄れるストリートファニチャーを設置します。親近感のある居場所が地域で見守る仕掛けとなり、こどもと地域のつながりを深めます。



### ■ ゆとりと安全を追求する

- ① 渋滞を緩和する出入口と車路の引き込み
  - ・車庫入れ待ちの車の道路への停留を防止するため、駐車場までの控えスペースとなる車路を敷地内に確保します。
  - ・車両進入口は、交差点の手前に設定し、一時停止により交差点で滞留する車の量を削減します。
  - ・駐車場は一方通行の運用とすることで、円滑な交通計画と安全性を確保します。
- ② 利用者を広く向かい入れるコンパクトな駐車場
  - ・駐車場は1か所に集約してコンパクトにまとめることで、駐車状況を把握しやすく、短時間で駐車できる計画とします。
  - ・駐車場を囲むようにキャノピーを計画し、雨天時にいち早く雨に濡れない場所へ向かい入れます。

### ■ 未来につなげる三次の環境建築

- ① 三次の自然を活用した快適な環境づくり
  - ・三次の自然(風・光・緑・土・水)がもつエネルギーを活用した上で、高効率な設備を無駄なく運転し、快適な環境を実現します。
  - ・一次エネルギーの消費量を基準値より52%削減することで、光熱水費を削減し、ライフサイクルコストの低減を図ります。
- ② 本物の自然を要所に取り入れる
  - ・こどもの居場所を中心に、アリソギやシツクハラス症候群の原因を防ぐ自然素材を多用します。
  - ・肌が直接触れる部分は肌触りがよく保温性に優れた無垢の木材や香りのあるしずくを使用します。
  - ・保育室の壁に、調湿性が高く消臭抗菌効果もある珪藻土や、紙クロスを取り入れます。
  - ・職員室やネウボラの床には、耐久性が高く、カーボニュートラルなリノリウムを採用します。
- ③ LCCを低減する長寿命化建築
  - ・LCC縮減項目リスト
    - ・東西方向の日射制御による、熱負荷の抑制
    - ・スケルトン・フェイス・リブの換気設備(更新性配慮)
    - ・テラステラスによるメテオラスが豊富なファード
    - ・リサイクル可能な建材の積極的な活用
    - ・センサー制御付き高効率設備機器の採用等

